

今水寺関係の歴史

鳳来寺山関係年譜 (鳳来寺山東照宮社務所 刊) 等より

- 702年(大宝2) 富賀寺創建 真言宗高野派 行基開祖
- 703年(大宝3) 鳳来寺創建 真言宗 利修仙人開山
- 同 今水寺創建 八名井熊野三社創祀
- 809年(大同4) 八名井吉祥山腹に今水寺建立さる
- 816年(弘仁7) 空海, 高野山に真言宗を開く
- 1148年(久安4) 今水寺の慶寛法印が松鷲山花井寺(豊川市)を創建
- 1175年(安元1) 千秋清季, 野田館を築く
- 1227年(安貞1) 道元, 永平寺を開く 曹洞宗を伝える
- このころから新城地方にも曹洞宗の寺院が多くなる
- 1335年(建武2) 富永直郷が野田館に入り, 富永庄を領した
- 1338年(延元3) 足利尊氏, 将軍となる
- 1392年(元中9) 南北朝統一される
- 1464年(寛政5) 大洞山泉龍院創建
- 1467年(応仁1) 応仁の乱おこる 細川勝元(三河勢従う)×山名宗全
- 1474年(文明4) 大地震がおこり, 神社・仏閣が多く倒壊。
- 1506年(永正3) 菅沼定則, 野田館に入る。1516年に野田城に移転
- 1524年(大永4) 松鷲山花井寺(豊川市)が曹洞宗に改宗
- 1530年(享禄3) 松平清康, 今水寺で休息後, 宇利城の熊谷実長を攻める
- 1533年(天文2) 豊島吉祥山永徳寺創建(曹洞宗 もと真言宗)
- 1546年(天文15) 今川義元, 吉田城を落とす
- 1560年(永禄3) 桶狭間の戦い このころ菅沼定盈, 今水寺延寿坊にて手習い
- 1561年(永禄4) 野田城, 今川氏親に明け渡すが, 翌年奪い返す
- 1569年(永禄12) 山家三方衆, 武田信玄に属す
- 1571年(元龜2) 菅沼定盈, 信玄に攻められ西郷に退くが, 野田城修復後戻る
- 同 信長が比叡山焼き討ち。信玄信長を非難, 延暦寺を甲斐で再興図る
- 1572年(元龜3) 家康, 三方ヶ原で信玄に敗れる
- 鳳来寺衆徒御陣見舞い, 甲冑をつけ御本陣相勤む
- 1573年(元龜4) 2月10日 信玄, 野田城を攻略する 3月下旬 鳳来寺に陣す
- 4月12日 甲府への帰途, 信州伊奈郡駒場にて死亡
- 1573年(天正1) 菅沼定盈 洞谷山幸春寺創建(後の宗堅寺) 曹洞宗
- 1575年(天正3) 長篠・設楽原の戦い
- このころ今水寺の12坊は衰退し, 延寿院のみ
- 1579年(天正7) 野田城主, 定盈 中宇利八幡神社創建
- 1589年(天正17) 検地帳写し 今水寺領(源頼朝, 今川義元の名) 翌年太閤検地
- 1590年(天正18) 菅沼定盈 上野国阿保へ移封される 1万石
- 1603年(慶長8) 家康, 征夷大將軍に
- 今水寺 延寿院, 文禄年間(1592~1596)か慶長の初年ころに廃滅
- 徳川時代まで残ったのは, 熊野三社と観音堂のみ
- 1755年(宝暦5) 大洞山泉龍院が今水寺の再興を図るも, 富賀寺に断られる
- 1828年(文政11) 富賀寺が延寿院を再建
- 1873年(明治6) 今水寺 明治維新で無檀無祿のため廃却となる

武田信玄と今水寺関係

<参考文献> 千郷村史, 野田郷1千年と大洞山, 鳳来寺山関係年譜, 鳳来寺山文献集成

- 1542年(天文11) 菅沼定盈, 野田城に生まれる
このころ, 今水寺延寿坊にて手習い
- 1556年(弘治2) 雨山の戦いで定村討死 定盈が後継(14歳)
- 1560年(永禄3) 桶狭間の戦い 今川義元討死
- 1561年(永禄4) 野田城, 今川氏親に明け渡す
- 1562年(永禄5) 定盈, 野田城を奪い返す
- 1568年(永禄11) 家康の遠州攻めで中宇利に入る。定盈が先鋒として刑部おさかべ(引佐)を攻略。家康, 遠州の各地を攻略し勢力拡大
- 1569年(永禄12) 山家三方衆, 武田信玄に属す
- 1571年(元龜2) 菅沼定盈, 信玄に攻められ西郷に退くが, 野田城修復後戻る
信長が比叡山焼き討ち。信玄が信長非難 信長追討令(義昭)
- 同
- 1572年(元龜3) 10月1日 信玄, 遠州へ出陣
12月22日 家康, 三方ヶ原で敗れる
鳳来寺衆徒御陣見舞い, 甲冑をつけ御本陣相勤む(家康方)
- 12月24日 刑部に陣を移し越年, 兵馬を休養させる
- 1573年(元龜4) 1月7日 刑部を出る。宇利峠を超える。富賀寺を焼く
鷹瀬ささらのせを渡り石田から度々日記城に入り, 本陣とした。
神社仏閣を焼く。(泉龍院, 諏訪神社, 竹生神社, 國玉神社)
- 11日 信玄攻撃を開始。本陣を上市場方面に移す。
武田勝頼を織田・徳川の備えに川田に配備
(武田総勢 2万5千~3万5千)
- 家康(信長の援軍来ず)3千の兵で旗頭山へ(吉田へ退却)
- 2月4日 家康, 上杉謙信に書を送る(信濃へ進軍を)
- 2月9日 鳥居半四郎 信玄を撃つ 水道を断たれる
- 2月10日 定盈, 野田城を開城する(山家三方衆の仲介)
- 2月17日 信玄, 長篠城へ入る
- 3月10日 野田の広瀬川原で人質交換(定盈と三方衆)
- 3月下旬 鳳来寺で静養 重病となり帰国を決断
- 4月12日 甲府への帰途, 信州伊奈郡駒場にて死亡
- 1573年(天正1) 菅沼定盈 洞谷山幸春寺創建(後の宗堅寺) 曹洞宗
野田の戦いで焼けた神社仏閣 16社
今水寺 富賀寺 泉龍院(豊栄) 永住寺(平井)
建長寺(杉山) 永徳寺(中市場) 万福寺(杉山)等
- 1574年(天正2) 4月 菅沼定盈, 野田城に戻る
- 1575年(天正3) 長篠・設楽原の戦い
このころ今水寺の12坊は衰退し, 延寿院のみ
- 1579年(天正7) 野田城主, 定盈 中宇利八幡神社創建
- 1589年(天正17) 検地帳写し 今水寺領(源頼朝, 今川義元の名) 翌年太閤検地
- 1590年(天正18) 菅沼定盈 上野国阿保へ移封される 1万石